

# 日中友好条約締結45周年記念 鑑真東渡1270周年記念

## 光文量子水墨と東和信量子デジタルアート展 2023

2023年5月15日(月)～5月18日(木) 日本・東京 中国文化センター



光文量子水墨と東和信量子デジタルアート展は、現在のデジタル・情報化時代において、新たな創造的イノベーションを模索し、アートの世界の裾野を広げ、国境を越えた2つのアートを表現する。

光文氏と東和信氏は、2008年北京オリンピック、国家大劇院での「天一生人～中日若手音楽家の創作交響曲～」舞台背景や、東京での「鑑真国際書画展2015」においてデザインによるイノベーションを我々に見せてくれた。

2023年は中日平和友好条約締結45周年を迎える。Web3、メタバース（仮想空間）、バーチャルヒューマンなど新しいハイテクノロジーがブームになっている今、光文氏と東和信氏は再びタッグを組み、5月15日から18日まで中国文化センターにて新たなアートの世界を披露する。

後援： 中華人民共和国駐日本国大使館文化部 日中友好協会 日中協会 神奈川県日中友好協会 横浜日中友好協会  
東盟経済旅遊投資発展促進会 亞洲友好協会 英国高頓教育 未来を創る緑と文化の会 中国詩歌春晚日本会場  
国際少年児童動漫画展 日中新聞 瑞宝企画 日中商報 新百合芸術団 半月文摘 ウィークリーダイジェスト新聞社  
大明寺 東渡寺 文峰寺 静安寺 白塔寺 鑑真学院 青柠数科 灵境文化 光文元宇宙 灵境实验室 正念生活美学  
上海雲間美術館 四川省香港商会 中国古代文字芸術館 中日国際輪渡有限公司(新鑑真号) 中国書畫收藏家協會上海分会

主催： 光 元宇宙 企画： 光 文



中国文化センター  
住所：〒105-0001  
東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F

入場  
無料





# 沈 光文

Shin Koubun

(号: 鑑真蓮子)

1981年: 唐雲、林曦明、高式雄等に師事

1988年: 東京西武画廊個展

1989年: 東京鳩居堂画廊にて個展 / NHK日本放送アカデミー講師

1990年: 「中国の伝統水墨山水画技法 山水篇芸術指導.沈光文」の講義ビデオ / 丸善書店

1991年: 大阪高島屋個展

1993年: 山総アートギャラリー、京都にて個展

1995年: 時代画廊 TimeGallery、サンフランシスコ、アメリカで個展

1998年: 上海美術館個展、福岡市美術館個展

1999年: 鎌倉美術館個展

2001年: 富山県福光美術館にて個展

2005年: 中国大明寺個展/1200年以上前、大明寺住職鑑真が日本に渡り、唐招提寺を建立しました。

八十三代大明寺住職能修が法号「鑑真蓮子」を授け

2007年: 三越アートギャラリー個展

2008年: 北京オリンピック「天一生人～中日若手音楽家の創作交響曲～」舞台背景水墨画デザイン

2010年: 中国七大砂漠の一つ、クブチ(庫布奇)砂漠の奥地に「エンゲベ(恩格貝砂漠科学博物館)が中国最大の砂漠砂壁画を制作

2010年: 青海・チベット玉樹地震孤児のための「グレート・ラブ・チャイナ・チャリティー・オークション」に参加

2011年: ルーズベルトハウス光文アートスペース(羅斯福公館光文芸術空間)

2015年: CCTV ドキュメンタリー「チャーミング・イースト(魅力東方)～現代画書の巨匠たち。時間と空間の創造者: 沈光文(鑑真蓮子)」

2017年: 「鑑真学院」特聘教授

2017年: 「映画百名芸人書画展」出展

2018年: 「量子水墨、光文世界」北京映画テレビ有名人博物館個展

2023年: 「光文量子水墨と東和信量子デジタルアート展2023」東京中国文化中心

# 東 和信

Azuma Kazunobu

2008年北京オリンピック委員会主催「天一生人～中日若手音楽家の創作交響曲～」音楽会・視覚芸術担当(中国国家大劇院)、《鑑真国際書画展2015》視覚芸術担当。

映像と音楽による空間演出の企画、空間演出に特化した映像・音楽コンテンツの制作、観客のアクションに応じて映像・音がリアルタイムに変化するインタラクティブな演出システムの設計開発を行う。

国内外における作品実績多数。

